



Before



After

業務吏員さん ありがとうございます

コートかけ真下の床一面にズラッと置かれたカバンが、見た目にも美しく整理整頓できるようになりました。構想から3ヶ月、二人の業務吏員さん（大橋さん・村上さん）の木材加工技術により、普通教室12カ所のすべりにカバン置きとしての棚が完成しました。

二段の棚は、無駄な空間をなくすことに成功し、どの教室でもカバン35~40個が収納できるようになりました。必要のない鉄柱や板を取り除き、その跡に頭をぶつけないよう行き届いた細工も施されています。日常の業務と並行しての作業でしたから、大変でした。

業務吏員さんは、「生徒の皆さんは、わざわざそばまで来て、お礼を言ってくれました。3年生が（卒業前に）少しでも使うことができてよかった。」と。



村上さん

大橋さん

全教室にカバン棚

晩秋を迎えて・・・

朝晩に加え、日によっては昼間も冷え冷えとするこの頃。およそ一か月前、美化委員が中心となって、プランターの花や市道植え込みの後始末を行いました。こういう作業は生徒にとって敬遠すべき取組とは思いますが、男女仲良く、そして美化委員でなくても帰りがけに手伝ったり、重いものを運んだり、冷たい水での洗い物も黙々とこなす生徒の皆さんに感心します。

写真のように緑の葉をつけていたイチョウの木から、いまや黄色い落ち葉が舞い散り、付近住民の皆様が竹箒で掃き集める状態となっています。葉のないスカスカした木は、毛を刈られた羊のようで、少し寂しげであります。

次の季節にむけて、いろいろやるべきことがあるようです。大人も、そして子どもたちも・・・



聴いて触って質問して クラシックふれあい授業

去る10/28（金）、本校1年生を対象にバイオリン鑑賞教室が、本校体育館にて開催されました。奏者は、宇都宮市立陽北中3年生と東京音楽大学1年生のお二人でした。今回は、「2010旭川ウィーン国際ヴァイオリンセミナー」の一環として、本校他市内9校の小中学校にて実施されました。格調高いクラシックの名曲を聴き、突然に感想を求められても、キチンと自分の言葉で伝えられる1年生女子。「ヴァイオリンの響きを初めて聴いて、とても感動しました」と自ら挙手した男子。会場が一気に和み、中3の北澤綾乃さんも、それを聞いて思わず「うれしいです」と笑みが。「普段は、どのような生活をしているのですか」との問には「みなさんと同じ、普通の中学生です」と。そして最後には、触らせてもらいました！おいくらなんですか？

